

施策1 「ごみを出さないライフスタイル」の普及（ごみの発生抑制）

(4) リデュース、リユースの活発化（計画書 P30-P31）

A 事業	B 取り組み内容	C H29.4 方針	D 進捗状況	E 効果、課題・問題点等	F R5.4 方針 (案)	G 見直し(案)															
① リデュース の活発化	<p>指定ごみ袋の使用（燃やせるごみ／燃やせないごみ）</p> <p>＜概要＞ 平成24年4月から、更なるごみの減量や不適物の混入の防止による収集の安全性の向上、管外からの持込の防止による効率化促進を目的とし、実費負担方式で導入しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実費負担方式 製造費及び販売手数料 ・有料方式 実費負担以外に、ごみ処理費用分（自治体の実質収入分）が上乗せされているもの。 	継続	<p>●袋の容量は、10, 20, 30, 45 リットルの4種類</p>	<p>●導入により、家庭ごみの燃やせるごみ、燃やせないごみの減量化につながった。</p> <p>[家庭系ごみ量実績（t/年）]</p> <table border="1" data-bbox="1650 636 2178 779"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃やせるごみ</td> <td>4,906</td> <td>5,048</td> <td>4,619</td> <td>4,663</td> </tr> <tr> <td>燃やせないごみ</td> <td>346</td> <td>407</td> <td>294</td> <td>291</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H23 ごみ量（特に燃やせないごみ）は、東日本大震災の影響が大きいと考えられる。</p> <p>●導入によりごみの減量化以外では、町民の方々に、ごみに対する理解を深めていただく契機の一つとなったと考えている。</p>	種類	H22	H23	H24	H25	燃やせるごみ	4,906	5,048	4,619	4,663	燃やせないごみ	346	407	294	291	継続	<p>●引き続き、指定ごみ袋の導入によりごみの減量化、収集の安全性、効率化を図っていく。</p>
種類	H22	H23	H24	H25																	
燃やせるごみ	4,906	5,048	4,619	4,663																	
燃やせないごみ	346	407	294	291																	
	<p>ノーレジ袋キャンペーンを継続</p> <p>＜概要＞ 日常の買い物等で、不要なレジ袋を受け取らないようにし、マイバックの活用を呼び掛ける取り組みです。のぼり旗を設置したり、啓発品を配布するなどのPRを行っています。 ※R2年度で事業終了</p>	継続	<p>●店頭でのPR、啓発の実施</p> <p>【宮代町の参加事業所実績】 令和2年度…75事業所 令和元年度…76事業所 平成30年度…72事業所</p> <p>【宮代町の街頭PR実績】 事業所…1か所（平成30年度まで） 催事…1か所（産業祭）</p> <p>※令和元年度まで実施、2年度は新型コロナウイルスの影響により中止</p>	<p>●令和2年度で終了</p> <p>レジ袋有料化、海洋プラスチックごみへの関心の高まりにより、アンケートの結果、964人中904人、約94%の方が普段からマイバックを使用していることがわかり、マイバックの使用が定着したと判断</p>	集約	<p>●個別の事業として掲載せず、施策1(1)「2R（リデュース、リユース）の推進」に集約</p>															
	<p>マイバック使用状況アンケートを継続</p> <p>＜概要＞ マイバックの使用やレジ袋の削減状況のモニタリングをしながら、住民や事業者に対する適切な働きかけを行います。</p>	継続	<p>●町民まつり等のイベントでマイバック使用状況に関するアンケートを実施。調査を行った。</p> <p>【調査内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① マイバックを持っていますか ② 日常的に使用していますか ③ 使っている理由は何ですか ④ 使わない理由は何ですか 	<p>●令和2年度調査結果</p> <p>964人からの回答があり、マイバックを持っている（97%）、使っている（94%）という結果になり、マイバックの定着が伺えた。使っている理由で一番多かったのが、レジ袋有料化よりも、ごみの減量・地球温暖化防止に役立つからという回答であった（964人中637人）。</p>	廃止	<p>●レジ袋の有料化とごみの減量・地球温暖化防止の意識が高まり、マイバックが定着していることから事業終了。</p>															

A 事業	B 取り組み内容		C H29.4 方針	D 進捗状況	E 効果、課題・問題点等	F R5.4 方針 (案)	G 見直し(案)
	4	<p>(★) 布おむつ使用の推進</p> <p>＜概要＞ 子育て世帯では、紙おむつによるごみ発生量が多く、ごみの減量化のために紙おむつの代わりに布おむつの使用も検討するように推進します。</p>	推進	<p>●事業の実施はない。</p>	<p>●繰り返し使用できるので、環境に優しい。 ●洗濯等のお手入れが面倒なことが難点。</p>	集約	<p>●多様なリデュースの手法の1つとして再整理する。</p>
② リユースの 活発化	5	<p>ホームページ、広報等による啓発</p> <p>＜概要＞ 「不用品交換制度」などを検討し、町のホームページで不用品交換情報を提供することで、住民の間での物品の再使用を推進します。</p>	継続	<p>●住民間での物品の再使用に関する施策の実施は検討していない。</p>	<p>●衛生組合においてリサイクル品をイベントで頒布したことはあるが、住民間での物品の再使用に関する施策の実施を検討はしていない。 ●町において、過去に不用品交換制度（「ゆずります、ゆずってください」）を実施したことはあるが、行政が管理をしニーズに対応していくことが難しく、現在は仕組みを用意している民間の力を活用していくことが有効。</p>	集約	<p>●脱使い捨てを推進する項目で集約する。</p>
	6	<p>(★) 詰替え容器の利用促進</p> <p>＜概要＞ 詰替え容器の利用で、ごみの減量化・資源化を図ります。</p>	推進	<p>●衛生組合だより、HPを用いて詰替え容器の効果伝えてる。</p> <p>【内容】 シャンプーを使い捨ての容器と詰替えパックで比べると、ごみの量は5分の1。仮に管内の全世帯（久喜市と宮代町）が取り組んだ場合、単純計算で、年間約20tの減量。</p>	<p>●具体的な数値や効果を示すことで意識を促した。 ●詰替えができる商品が多く発売されており、購入できる機会が増えている。またメーカー側の努力により、エコ容器、エコ包装も多くみられるようになった。</p>	集約	<p>●脱使い捨てを推進する項目で集約する。</p>
	7	<p>(★) リユース食器の普及</p> <p>＜概要＞ お祭りやスポーツなどのイベント会場で使い捨ての食器を使用せず、リユース食器（回収・洗浄・再利用）を推進することでごみの減量化・資源化を図ります。</p>	推進	<p>●現時点では特段の取り組みは行っていない。</p>	<p>●回収する仕組み作りが必要。 ●一回当たりの使用料金が高くなる。 ●紛失時の弁償金が発生する。</p>	集約	<p>●脱使い捨てを推進する項目で集約する。</p>

A 事業	B 取り組み内容		C H29.4 方針	D 進捗状況	E 効果、課題・問題点等	F R5.4 方針 (案)	G 見直し(案)
	8	<p>(★)マイボトル、マイ箸等再利用できる容器、食器の利用促進</p> <p><概要> マイボトル、マイ箸等再利用できる容器、食器を促進することで、ごみの減量化・資源化を図ります。</p>	推進	<p>●衛生組合だより、HPを用いてマイボトルの利用促進をしている。</p> <p>【内容】 お出かけにはマイボトルを持参し、使い捨て容器の購入を抑える。</p>	<p>●マイボトルの他、マイ箸等の再利用出来る容器、食器の幅広い利用促進案内が必要。</p> <p>●マイボトルの認知度が世の中で広がり、お店でマイボトルに給水出来るシステムが導入されている。</p> <p>●プラスチック製のスプーンやフォークの有料化の動きで、今後さらにこの取組が加速する可能性がある。</p>	集約	<p>●脱使い捨てを推進する項目で集約する。</p>
	9	<p>(★)シルバー人材センターなどと連携し、利用可能な粗大ごみの再生事業を検討</p> <p><概要> シルバー人材センターとの連携で、粗大ごみの対象となる、家具・家電の修理・リメイクをして再生利用できるようにします。</p>	推進	<p>●実施には至っていない。</p>	<p>●シルバー人材センターでは家具の修理などの業務を受けているが、連携して再生事業を行うには至っていない。</p> <p>●連携して行う業務内容の整理が必要。</p> <p>●連携することで高まる効果の検討が必要。</p> <p>●ごみの再生利用に係る排出者の承諾確認、能力を持つ人材の確保や、作業場所、頒布場所の確保が課題。</p> <p>●再生品の安全性の確保が課題。</p>	推進	<p>●引き続き粗大ごみの再生事業の実施を検討していく。また、民間におけるリサイクル事業の活用についても検討していく。</p>

★：これまでの取り組みに加えて実施する、あるいは特に力を入れて実施する取り組み（H29.4策定時）